

一方、実際に施設を運営するうえで必要な医師の充足率は71.8%にとどまっております、医療法上の充足率とは大きな乖離がある。

また、常勤医師数529人に対し、施設運営上必要とする常勤医師数は737人と208人不足で前年同期よりも悪化している。

これは、本年4月の医師の時間外労働規制の開始に伴い、負担軽減等を目的とした必要数の増加によるものと思われることから、現場の状況が改善されているとは言い難い。

## ▶診療科偏在にも改善は見られず大きく乖離

診療科別では、外科、整形外科が80%台、内科、小児科が70%台である一方、神経精神科、放射線科、皮膚科においては50%以下となっており、診療科偏在が目立っている。

とりわけ、放射線科においては36.8%と、極めて深刻な状況にある。

なお、基本の診療科である内科、外科でさえも不足が生じていることから、自治体診療施設が本県の地域医療を支えている実態に鑑みると深刻な状況にあると言える。(表2)

表2 診療科別総括

区分 科名	現 員			必要数(施設運営上)			過 不 足 数	
	常 勤 ①	非 常 勤	合 計	常 勤 ②	非 常 勤	合 計	人 員 ①-②	充 足 率 ①÷②
	人	人	人	人	人	人	人	%
内 科	127	205	332	173	71	244	△ 46	73.4 (78.5)
外 科	76	86	162	94	44	138	△ 18	80.9 (83.3)
産 婦 人 科 (婦人科含む)	19	54	73	32	11	43	△ 13	59.4 (62.5)
小 児 科	29	78	107	38	24	62	△ 9	76.3 (70.0)
整 形 外 科	37	50	87	46	15	61	△ 9	80.4 (78.3)
泌 尿 器 科	18	20	38	26	6	32	△ 8	69.2 (70.8)
眼 科	8	35	43	12	13	25	△ 4	66.7 (45.5)
耳 鼻 咽 喉 科	11	31	42	17	17	34	△ 6	64.7 (68.8)
神 経 精 神 科	8	16	24	16	3	19	△ 8	50.0 (60.0)
放 射 線 科	7	17	24	19	1	20	△ 12	36.8 (33.3)
脳 神 経 外 科	16	22	38	24	6	30	△ 8	66.7 (54.2)
皮 膚 科	4	72	76	8	9	17	△ 4	50.0 (50.0)
麻 酔 科	15	72	87	22	16	38	△ 7	68.2 (72.7)
そ の 他	154	91	245	210	15	225	△ 56	73.3 (70.1)
計	529	849	1,378	737	251	988	△ 208	71.8 (71.7)

(注) 1. その他には、心臓血管外科、リハビリテーション科、臨床病理科、病理、病理診断科、形成外科、初期研修医、臨床検査科、検査科、専攻医、栄養管理科、緩和医療科、救命救急センター、救急科、救急診療科、周産期センター、糖尿病内分泌内科、循環器内科、循環器科、呼吸器内科、脳神経内科、リウマチ科、総合診療科、へき地医療センター、健診・保健科、健診センター、脊椎脊髄・神経外科、メンタルヘルス科を含む。  
2. 充足率の( )内数値は、前年度分である。ただし比較の観点から、町立大鰐病院(令和5年10月1日診療所化)を除く数値で調製した。

# 常勤医師数は529人

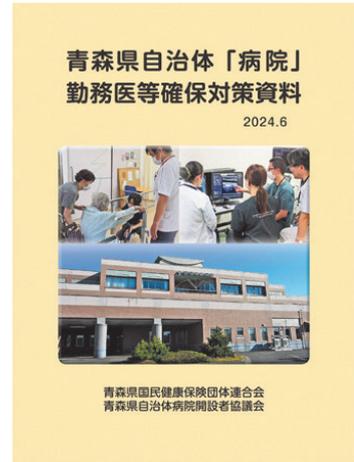
## 県内自治体病院勤務医確保状況

### ▶ 常勤医師数は前年同期比17人増の529人

(図1)

青森県自治体病院開設者協議会では、県内自治体病院20施設（青森県立中央病院を除く）の令和6年5月1日現在における常勤医師等の状況をまとめた。(図1、表1)

常勤医師数は、前年同期に比べ17人増の529人と3年ぶりに増加に転じた。その内訳は、研修医（初期、専攻医）を除く常勤医師が1人増の406人、研修医が16人増の123人となっている。



### ▶ 施設運営上充足率は71.8%と依然として低迷

医療法上の医師充足率は196.9%で、平成17年から20年連続で100%を超えている。

表1 自治体病院医師確保状況年度別推移（令和2年度～令和6年度）

区分 年月	現 員				員		必 要 数				過 不 足 数			
	常 勤 (うち 研修医) ①	非 常 勤		合 計 ①+②	対前年比	対2年 5月比	医 療 法 上		施 設 運 営 上		医 療 法 上		施 設 運 営 上	
		人 員 ②	左 常 勤 換 算 ③				人 員 ④	常 勤 ⑤	非 常 勤	合 計	人 員 ①+③-④	充 足 率 (①+③)÷④	人 員 ①-⑤	充 足 率 ①÷⑤
2年5月	518 初期(90) 後期(3) 専攻(22)	789	66.938	1,307	—	100.0	351.207	744	226	970	233.731	166.6	△ 226	(134.7) 69.6
3年5月	532 初期(87) 後期(3) 専攻(26)	820	72.575	1,352	(103.4) 102.7	(103.4) 102.7	320.344	751	229	980	284.231	188.7	△ 219	(138.0) 70.8
4年5月	523 初期(89) 専攻(33)	776	64.564	1,299	(96.1) 98.3	(99.4) 101.0	314.031	735	203	938	273.533	187.1	△ 212	(138.5) 71.2
5年5月	512 初期(85) 専攻(22)	801	68.655	1,313	(101.1) 97.9	(100.5) 98.8	311.596	713	236	949	269.059	186.3	△ 201	(138.4) 71.8
6年5月	529 初期(86) 専攻(37)	849	77.113	1,378	(105.0) 103.3	(105.4) 102.1	307.858	737	251	988	298.255	196.9	△ 208	(139.5) 71.8

- (注) 1. 「4年5月」以降は弘前市立病院（令和4年3月31日閉院）、「6年5月」は町立大鰐病院（令和5年10月1日診療所化）を除く数値で調整した。  
 2. 常勤の（ ）内数値は研修医の再掲である。  
 3. 対前年比、対2年5月比、充足率は、常勤を対象とした指数である。  
 4. 対前年比、対2年5月比、充足率の（ ）内数値は、非常勤を含んだものである。  
 5. 歯科医師を除いた数値である。